

八王子中町プロジェクト

八王子市中町を対象とした花街の雰囲気の回生及び活性化に向けた活動支援

活動地域

東京都八王子市中町

活動キーワード

中心市街地 # 花街 # 黒塀
柳 # 石畳

活動期間

2011年～継続中

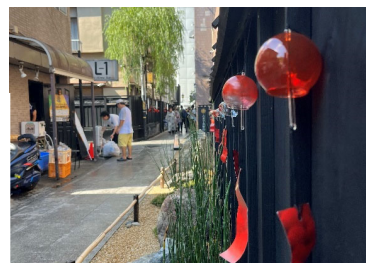
所属メンバー

M1 斎藤桃乃
B4 丸山香奈恵 増澤慧

活動体制

工学院大学野澤研究室
八王子市まちなみ整備部
まちなみ景観課・市街地活性課
一般社団法人八王子市まちづくり公社
HCL合同会社

八王子市中町地区まちづくり協議会
まちづくりアドバイザー
東京都立大学川原研究室
桜美林大学尾川研究室



プロジェクト概要

明治30年の大火をきっかけに花街が集約した「中町」では、織物業ともに花街文化も発達し、大正末期には150名ほどの芸妓数を誇っていた。一時は織物業の衰退とともに料亭や芸妓の数は減少したが、かつての花街の情緒を回生しようという気運が高まっている。これに伴い、当プロジェクト及び中町まちづくり協議会においては、暮らしに歴史と文化の薫るまちづくりを目指し日々活動している。



活動経緯

本研究活動は本校が所在する東京都八王子市の、歴史的資産である花街文化の継承と活性化を目的として活動している。八王子市では平成18年度の施行された八王子市地区まちづくり推進条例にて、中町地区を対象に地区まちづくり協議会を発足した。野澤研究室としては、まちづくり学科の学生という立場から、研究活動や協議会への提案を行い、地域住民と共に花街の活性化に向けた活動を行っている。

これまでの活動

2012
2017

【花街のデザインを取り入れた活動】
駐車場フェンスの黒塀化プロジェクトや散策マップの作成、違法駐輪対策及び清掃活動を実施。空き地活用したイベントを開催。

2018
2021

【八王子まつり参加・花街文化周知活動】
八王子まつりにまちの一員として参加。2016年に作成した花街散策マップを更新し配布。21年完成施設を活用し、展示企画実施。

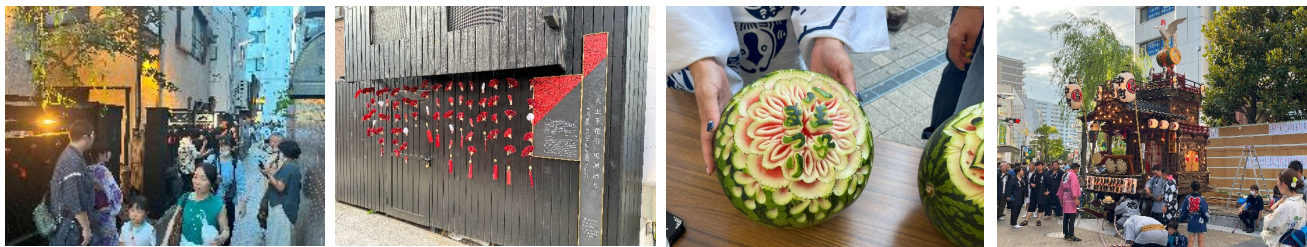
2022

【花街文化継承・景観保全の活動】
芸妓衆と連携し、花街文化イベント実施。協議会オリジナルを手ぬぐい作成。また、景観関連活動を行った。

2023

【花街らしい景観づくり】
4年ぶりの八王子まつりに参加し、かき氷や手ぬぐいを販売。都立大や桜美林大と協力し、黒塀を彩る活動に参加した。

活動の様子



今年度の活動内容

中町内の複合施設桑都テラスは、開業から1年が経ち、まちの中心となりつつある。また、所属するまちづくり協議会には、桑都テラス運営会社だけでなく、都立大や桜美林大といった新たな構成員が加わった。まちの風景だけでなく、まちに関わる人々を含め、中町を取り巻く環境の変化を感じる1年となった。

八王子まつりへの参加

4年ぶり開催の八王子まつり。プロジェクトの枠を超え、研究室全体として参加。

【町会テントで手ぬぐい販売】 中町公演に設置された中町町会のテントにおいて、協議会オリジナル手ぬぐいを販売。まつりで実際に着用されている中町の半纏デザインを踏襲したミニ半纏手ぬぐいは、デザインを学生が考案し作成。今回が初の対面販売となった。延べ約30枚程度売上。

【桑都テラスにてかき氷販売】 桑都テラスにて、施設の運営を行う合同会社HCLがまつりに合わせた食べ物の販売や縁日イベントを実施した。野澤研究室メンバーはかき氷の販売に、メニュー考案や当日の販売スタッフとして、参加した。



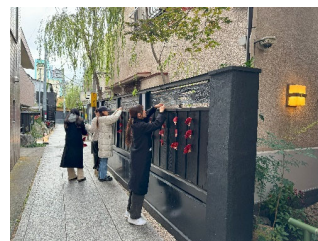
シャッターデザインの実装

協議会発行の花街散策マップに登場する猫キャラを、実際の街へ登場させるというアイデアのもと、シャッターイラストの提案が、昨年度協議会内で持ち上がった。デザイン案は本学学生が担当した。今年度、見番の倉庫シャッターに、イラストレーターによる塗装が施され、まちの彩りとなっている。



黒塀キャンバスプロジェクト

都立大発案の黒塀キャンバスプロジェクト。中町内の黒塀を背景に、写真を撮りたくなる花街の風景を創り出す装飾の作成・設置を行った。第1回は八王子まつり期間、第2回は桑都テラス1周年イベント実施時、第3回は成人を祝う会に合わせ、実施。印象的な赤の風鈴や扇子が、通行人の注目を集めた。



来年度の活動予定

【新たな中町の景観】

中町に必要な景観の検討や調査をもとに、灯りや案内サイン設置の提案を行った。我々の提案をもとに、市やランドスケープデザイナーにより、順次設置の実現化が進められる予定だ。

